

## 4. トラブルとその対応事例

### 4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

#### 事象分類別 ( a. 詰まり・堆積 )

#### 1-44. 廃ガス処理工程における廃ガス冷却器の詰まり

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>高レベル廃液ガラス固化建屋：廃ガス冷却器</p> <p>ガラス溶融炉から発生する廃ガスを冷却する設備。</p> <p>ガラス溶融炉の運転中</p> <p>ガラス溶融炉から発生する廃ガス中に含まれる粉塵が廃ガス冷却器の内部に詰まり、廃ガス配管の差圧が上昇。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり（予め対応手順を定めている）。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p><b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を除去するフィルタ等を有する高レベル廃液ガラス固化廃ガス処理工程での事象および通常運転を継続しながらの詰まり除去操作であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p><b>安全性への影響は生じない。</b> 廃ガス配管の差圧上昇を警報により検知し、差圧上昇が確認された時点で水洗浄を行うため、これ以上事象の進展はなく、安全性への影響は生じない。</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 廃ガス洗浄器の洗浄は、セル外からの遠隔作業であり、作業員が直接放射性物質を扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> ガラス溶融炉への廃液供給中に廃ガス冷却器の洗浄を実施することにより運転を継続出来るため、他工程への影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>1.定められた手順に従い、廃ガス冷却器の洗浄を実施する。</p> <p>2.廃ガス冷却器洗浄後の廃ガス配管の差圧を確認し、詰まりが除去されたことを確認する。</p>												
<p>公表区分</p>	<p>毎月集約して月1回公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

\*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

# 事象概要

